

育成を目指す資質・能力

関東地方において、人口や都市・村落を中核とした事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。

ICT活用のポイント

デジタル付箋紙を用いて、東京23区に集まるものを分類する。分類した情報をもとに、シンキングツールを使い人口が集まる要因についての考えを整理する。

【つかむ】

前時までの学習を振り返り、
本時のめあてをつかむ。

なぜ東京23区には
人が集まるのだろう。

【追究する】

(個別) 課題解決に必要な情報を集める。

(班) ①個別に読み取った情報をグループで補完・修正する。→②学級全体で共有

(個別) 学級全体で整理した情報を基に、③個別にシンキングツールを用いて課題に対する考察をまとめる。

【まとめる】

めあてに対する④まとめ・振り返りをおこなう

事例の概要

○東京23区に人が集まる要因について考察できるよう、「政治」、「経済」、「文化」、「商業」、「交通網」等の視点を持ち、その視点から要因について考察し、まとめる。

事例におけるCT活用の場面

○個別に読み取った情報を、同じ学習シート上においてデジタル付箋機能を使い、グループで情報を共有・補完・修正を行う。【活用場面①】

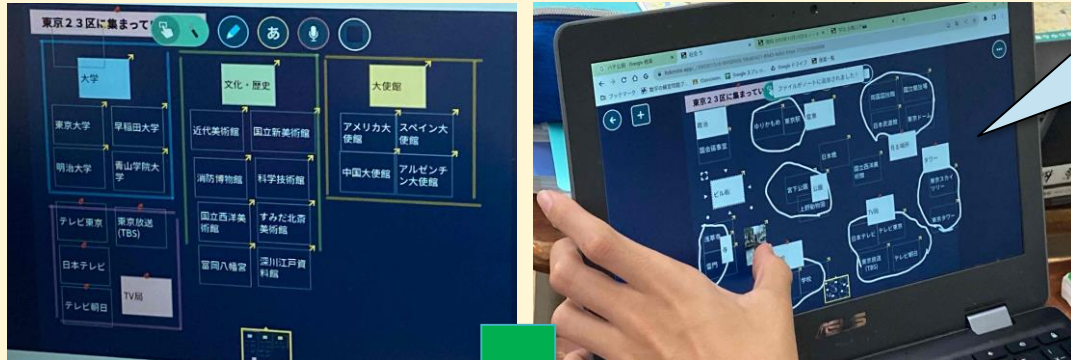
○グループの代表者が提出BOXへ提出→全グループの情報を個人のICT端末上で自身のグループと比較しながら、全生徒が確認する。【活用場面②】

○シンキングツール(クラゲチャート)を用いて、人が集まる要因を考察する。【活用場面③】

○ICT端末上の「単元シート」に、本時のまとめ・振り返りを入力する。【活用場面④】

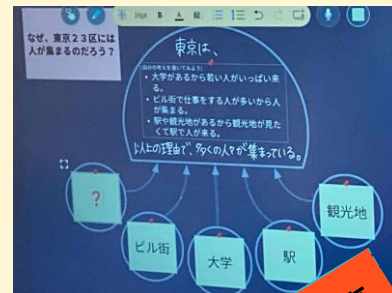
【社会・中2・地理的分野 「関東地方」】②

【事例におけるICT活用の場面① 共有】



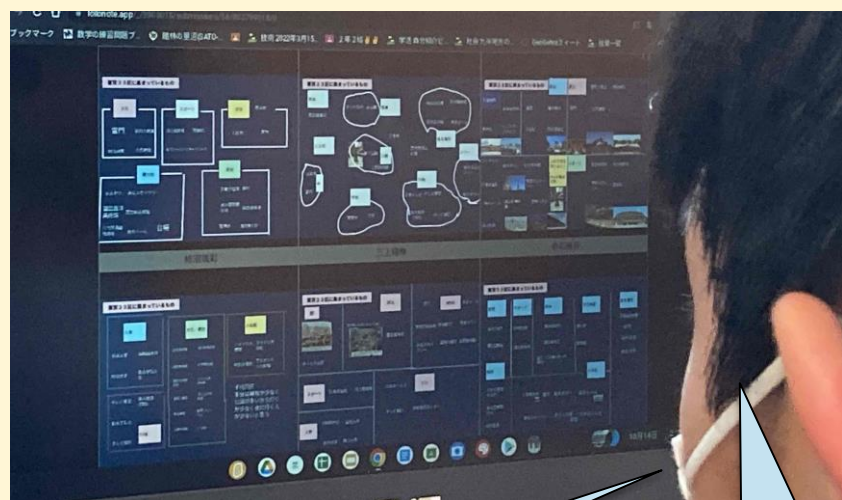
グループ内で自由に書き込めるし、直接話しながら、みんなで視点を考えることができる！

【事例におけるICT活用の場面③ 思考の整理】

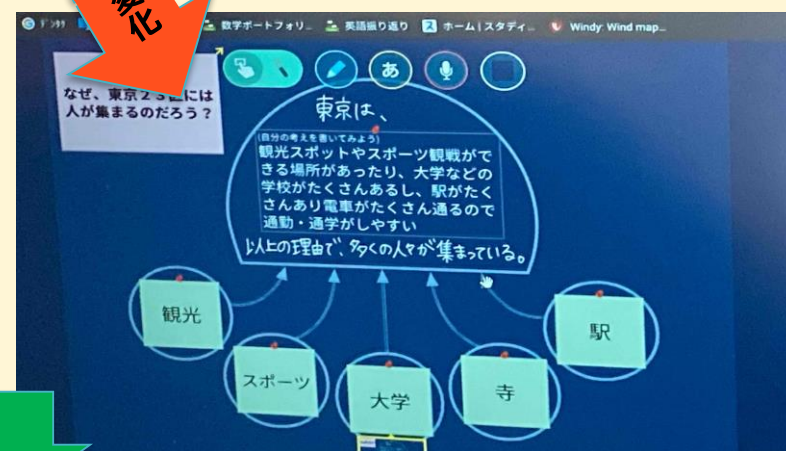


5つの視点を選択するが、他のグループの視点や他の生徒を参考に視点を変更したり、付け加えたりして、多面的に考察できる

【事例におけるICT活用の場面② 共有】



視点が変わったことで、生徒の考察も広がりを見せた！！



【事例におけるICT活用の場面④ データの蓄積】



単元シートにまとめや振り返りを蓄積することで、単元の課題の解決へ迫ることができる。

こんな分類の仕方もあるんだな。

なるほど！このような視点ももつことができるのか！